

誠實自然

令和3年9月14日

<9月11日に開催した中学部合唱コンクールでのあいさつ>

緊張していませんか？

開催ができるか不安がたくさんあったと思います。その不安な気持ちに十分寄り添うことができなかったことごめんなさい。でも、こうして合唱コンクールの開催にたどりつけたことを喜びあいたいと思います。皆さんの頑張りのおかげです。ありがとう！

今日まで、本当によく頑張り、くじけそうな気持ちを乗り越えてきたと思います。

オンラインでの選曲や、オンラインパート練習、一人での伴奏練習を重ねた伴奏者、一人で黙々と行った指揮の練習、みな一人からのスタートだったと思います。

でも、今日は、隣に信頼できる仲間がいます。学校で仲間と会い、練習を開始した時、みんなちゃんと声を出してくれるかな、裏切る人もいるんじゃないかな、私一人声を出さなくても大丈夫だよ。と言った不安な気持ちが、練習を重ねることで、信頼できるようになり、自信へと変わったと思います。練習を重ねれば重ねるほど、また、互いにぶつかったこともあったと思いますが、その一つ一つがあったから、よしいっしょに頑張ろう！と仲間と絆が深まって今があります。そんな、皆さんの姿を傍で見守り、応援をしていたのが、先生たちです。みんなのことを信頼し、少しずつよくなる姿が嬉しく、期待をもったと思います。先生たちもありがとうございました。

今日のステージは、最高の仲間と今出せる力を声を出し切ってください。

それが、スローガンの「音域展開 sing as one team」につながります。スローガンを考えてくれた丸山さんは、パートごとに広がった音域がそれぞれの持ち味を出し切ることで、更に音域が広がり、ハーモニーとして展開していくけれど、それが、一つのチームのようにまとまることで、最高の合唱になるとの思いで、このスローガンを考えたそうです。素晴らしいスローガンです。丸山さんありがとうございました。

今日の合唱コンクールの開催は、台北市政府教育局へ計画書を提出し、感染対策を十分に行うことで、了解をいただいています。新しく完成したアリーナで、台北日本人学校の中学部の最初の合唱コンクールを行うのが、今ここにいる皆さんです。すごいことです。

保護者の皆様、アリーナで、生の声を、姿を空気を味わっていただくことができず残念です。オンラインでのライブ配信となりましたが、今日まで励まし、支えていただいた感謝の気持ちは伝わると 생각합니다。画面を通して、応援をお願いします。

「Sing as ONE TEAM」

合唱を通じて、TJSの中学部が、不安を自信に変えた日、歴史を創った日にしていきたいと思います！

※全てのクラスが、素晴らしい態度、素晴らしい歌声、素晴らしい指揮、素晴らしい伴奏でした。感動しました。ありがとうございました。

